

鍋林建工株式会社

環境活動レポート

(活動期間:2016年4月1日～2017年3月31日)

2016年度



2017年7月31日
鍋林建工株式会社
代表取締役社長 小林力由

目次

	項目		ページ
1	事業の概要	1
	(1) 事業者名及び代表者名 (2) 所在地 (3) 環境責任者氏名及び担当者連絡先 (4) 事業内容 (5) 事業規模 (6) 実施体制		
2	基本方針	2
	アクセス	3
3	主な環境負荷の実績	4
4	今後の環境目標		
	① 本社・長野の目標	5
	② 新潟の目標 (2017年よりスタート)	6
5	主要な環境計画と内容	7
6	環境活動の取組結果と評価		
	(1) 取組結果と評価	8
	(2) 環境管理責任者の評価	9
	(3) 代表者の評価	9
7	環境関連法規制と遵守状況	9

1. 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

鍋林建工株式会社

代表取締役社長 小林 力由

設立 昭和53年4月5日



(2) 所在地

(本社、松本営業所)

〒390-0851 長野県松本市大字島内3501-1

(新潟営業所)

〒950-0923 新潟県中央区姥ヶ山2-19-12

(長野営業所)

〒380-0913 長野県長野市川合新田字村西956-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者:総務部長 百瀬 登

長野営業所所長: 鈴木 雄一

事務局 :営業推進部部长 島 康典

新潟営業所所長: 渡邊 和人

本社・松本営業所連絡先 電話:0263-48-3501 ファックス:0263-48-3502

長野営業所連絡先 電話:026-221-0232 ファックス:026-221-5045

新潟営業所連絡先 電話:025-286-1841 ファックス:025-286-1842

(4) 事業内容

建設業 (一般住宅設計施工、公共工事、防水工事、左官工事、鋼構造物工事、塗装工事、とび・土工工事、解体工事)

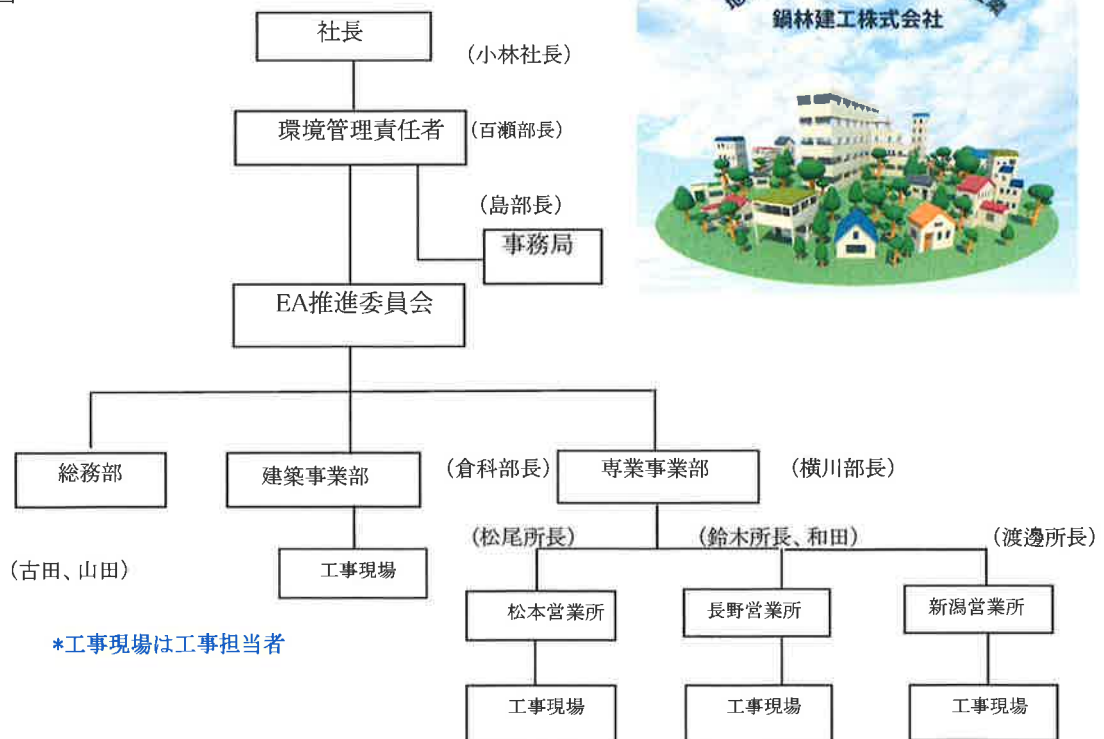
(5) 事業の規模

資本金 2,000万円

従業員 28名

延べ床面積 1,776 m² (本社:事務所725m² 倉庫297m² 長野:事務所111m² 倉庫223m² 新潟:事務所88.8m² 倉庫120.6m²)

(6) 実施体制図



2. 環境方針

環境方針

鍋林建工株式会社は事業活動及び製品・サービスを通じて、地域環境の保全、自然との調和と共生を実現する為に、下記の通り事業活動における環境負荷低減を常に意識し、継続的維持可能な循環型社会に組織が自主的かつ積極的に取り組みます。

行動指針

1. 環境マネジメントを理解し、PDCAサイクルにより継続的改善をしていく。
2. 環境関連法規を遵守する。
3. 環境負荷軽減をしていく。

①二酸化炭素排出量の削減

②化学物質の低減とグリーン調達推進

③廃棄物と水資源使用の削減とリサイクル活用推進

④省エネでエコな建築工法の推進

環境方針と行動指針を全社員に周知し、実施する。我々のこの取り組みが関係会社、地域の方々へ波及していくことを願っている。

平成 25 年 12 月 1 日

鍋林建工株式会社

代表取締役社長 小林 力由

本社アクセスマップ

本社【建築事業部・専業事業部】



- ▶ 所在地： 〒390-0851
長野県松本市六字島内3501-1
- ▶ TEL： 0263-48-3501 (代)
- ▶ FAX： 0263-48-3502

長野営業所アクセスマップ

長野営業所【建築事業部・専業事業部】



- ▶ 所在地： 〒380-0913
長野県長野市川合新田字付西956-1
- ▶ TEL： 026-221-0232
- ▶ FAX： 026-221-5045

新潟営業所アクセスマップ

新潟営業所【専業事業部】



- ▶ 所在地： 〒950-0923
新潟県新潟市越ヶ山2-19-12
- ▶ TEL： 025-286-1841
- ▶ FAX： 025-286-1842

3. 主な環境負荷の実績

項目		単位	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績
二酸化炭素排出量(事・現)		kg-CO ₂ /年	109,701	115,839	129,242
	電力(事業所)	kwh/年	38,373	37,293	34,420
	ガソリン(事務所)	ℓ/年	33,262	33,361	34,841
	灯油(事業所)	ℓ/年	3,108	2,844	3,758
廃棄物排出量		トン/年	92.1	91.3	89.1
	一般廃棄物	トン/年	0.110	0.129	0.152
	産業廃棄物	トン/年	92.0	91.2	88.9
総排水量(事業所)		m ³ /年	395	301	251
省エネ住宅の受注(現場)		件数/年	0	1	0
OA紙使用量削減		枚数/年	183,500	181,665	221,500
グリーン購入 ケミカート EP、AU (事業所)		SET/年	12	35	37
地域活動(事業所)		周辺清掃回数/年	8	8	12

注:事業年度=4月~3月

注:(事・現)とは事務所と現場の合計数字
新潟営業所実績は含まず

電力の二酸化炭素排出
係数:0.516 kg-CO₂/kwh
中部電力:2012年係数使用

4.今後の環境目標

① (本社・長野の目標)		2014年度	2017年度	2018年度	2019年度	
項目	単位	(新基準年)	年度目標 <small>(新基準年から2%削減)</small>	年度目標 <small>(新基準年から2.5%削減)</small>	年度目標 <small>(新基準年から3%削減)</small>	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	109,701	107506.98	106958.475	106409.97	
電力	kwh/年	38,373	37605.54	37413.675	37221.81	
	ガソリン	ℓ/年	33,262	32596.76	32430.45	32264.14
	灯油	ℓ/年	3,108	3045.84	3030.3	3014.76
産業廃棄物	トン/年	92.1	90.258	89.7975	89.337	
総排水量	m ³ /年	395	387.1	385.125	383.15	
省エネ住宅	件数/年	1	3	3	4	
OA紙使用量	枚数/年	183,500	179,830	178912.5	177,995	
グリーン販売(水溶性塗料) ケミコートEP、AU(水溶性)	購入数 (セット)/年	12	15	16	17	
地域活動	周辺清掃 回数/年	8	12	14	16	

省エネ住宅、グリーン販売、地域活動は削減でなく増加とする。

*2017年より審査対象とする

② (新潟の目標)

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
項目	単位	(新基準年)	年度目標	年度目標	年度目標	
			(新基準年から1%削減)	(新基準年から2%削減)	(新基準年から2.5%削減)	
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	23,210	22978.3158	22746.2116	22630.1595	
電力	kwh/年	4,921	4871.79	4822.58	4797.975	
	ガソリン	ℓ/年	8,019	7938.81	7858.62	7818.525
	灯油	ℓ/年	813	804.87	796.74	792.675
産業廃棄物	トン/年	13.1	12.969	12.838	12.7725	
総排水量	m ³ /年	29	28.71	28.42	28.275	
省エネ住宅	件数/年					
*OA紙使用量	枚数/年	11,500	11,385	11270	11,213	
グリーン販売(水溶性塗料) ガムカートEP、AU(水溶性)	購入数 (セット)/年	0	2	3	4	
地域活動	周辺清掃 回数/年	4	5	6	7	

*注: 上記も目標値は2016年実績として削減する。但し、省エネ住宅、グリーン販売、地域活動は増加とする。

5. 主要な環境活動計画の内容

取組項目		活動計画の内容	評価	次年度への取組
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	・エアコンの温度設定 (事務所:冷房 28℃、暖房 20℃、現場事務所:冷房 26℃、暖房 20℃)	○	こまめな温度管理
		・コピー機等の効率化使用、PC電源OFF	○	社員への意識づけ強化
		・昼休みの60分間消灯	○	励行されてきた継続
		・未使用換気扇電源OFF	○	徹底されてきた継続
	ガソリン使用量削減	・アイドリングストップ(エコドライブ10の実施)	△	社員への意識づけ強化
		・積載オーバー、不要な荷物は積まない	△	〃
		・月報距離、給油量を記録する	○	励行されている継続
	灯油使用量削減	・暖房温度管理 20℃	△	エアコンとの効率的併用
		・時間外事務所使用の短縮	×	時間外使用を抑える
廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量削減	・3S活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進	○	分別強化、特に塗料の廃棄時の扱い徹底強化
		・関係業者への廃棄物持ち込み削減依頼	○	担当者が関連作業員へ指導強化
		・分別徹底とリサイクル(特に古紙、缶ビン)	○	再生紙排出量を増やす
	一般廃棄物排出量削減	・書類作成時の1枚ベスト・2枚ベター指導	○	分別強化
		・両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減	△	社員への意識づけ強化
		・社内文書の電子化	△	励行されてきたが強化
総排水量削減	・水道水の出し過ぎない、止水確認	○	社員の意識づけ強化	
	・洗い物はまとめて洗う	○	〃	
グリーン商品の購入推進	・グリーン商品を優先して使用する	○	継続して増やす	
	・従業員に周知する	○	〃	
OA紙使用量削減	・コピーの裏面使用、社員の削減意識の徹底	△	社員の意識づけ強化	
	・会議のPJ利用、電子媒体の利用	△	〃	
省エネ住宅の受注	・エアパス工法の推進と後方活動	△	営業力の強化	
	・グループ会社の会報を通じてPRする	△	会報の利用を強化	
地域活動	・鍋林グループ全体で行う事業所周辺の定期清掃	○	活動回数を更に増やす	

6. 環境活動の取組結果と評価

(1)取組結果と評価

取組項目	2016年度目標	現在までの取組結果 (2016年4月～2017年3月)			達成率	評価
		目標/実績				
二酸化炭素排出量削減 (kg-Co2/年)	2014年度比1%削減	目標/実績	108,604	129,242	81.0%	未達成
電力使用量削減 (kwh/年)	2014年度比1%削減	目標/実績	37,989	34,420	109.4%	目標達成
ガソリン使用量削減 (ℓ/年)	2014年度比1%削減	目標/実績	32,929	34,841	94.2%	未達成
灯油使用量削減 (ℓ/年)	2014年度比1%削減	目標/実績	3,077	3,758	77.9%	未達成
廃棄物排出量						
一般廃棄物 (トン/年)	2014年度比1%削減	目標/実績	0.109	0.152	60.4%	未達成
産業廃棄物 (トン/年)	2014年度比1%削減	目標/実績	91.18	88.90	102.5%	目標達成
総排水量 (m3/年)	2014年度比1%削減	目標/実績	391	245	137.3%	目標達成
OA紙使用量削減 (枚数/年)	2014年度比1%削減	目標/実績	181,665	221,500	78.1%	未達成
省エネ住宅の受注(エアパス) (件数/年)	1件/年	目標/実績	2	0	0.0%	未達成
グリーン購入(水性塗料) ケミラーEP、AU(水溶性) 購入セット(セット数/年)	2014年度比1%増	目標/実績	13	37	284.6%	目標達成
地域活動						
事業所周辺の定期清掃 (回数/年)	6回実施 1回多く実施する	目標/実績	8.1	12	148.5%	目標達成

(2)環境管理者の評価

目標未達であったガソリン、灯油は営業活動、天候によって影響を受けた。OA用紙、省エネ住宅の目標は実態を踏まえ、目標変更、目標内容検討をする必要があるので、来年度の目標立案に反映させたい。

2017年7月31日

百瀬 登

(3)代表者の評価

EA21の方針である法令遵守、環境負荷軽減を推し進め、スパイラアップしていく為の手法を、EA21のプログラムから学んでいく。
EA21の活動が地域貢献、会社経営にプラスになるような活動を継続していく。

EA21の認証登録して3年が経過した。取得を目指した時の気持ちを思いおこし、初心に立ち返り常に活動して欲しい。
当社は今年、創立40年目を迎える節目と年である。記念の年に成果をあげEA21の活動も将来に渡り継続して続けていくことを願っている。

2017年7月31日

小林 力由

7. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票運用	遵守
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	遵守
資源有効利用促進法	分別排出、再生資源化に協力	遵守
消防法	少量危険物の貯蔵と取扱、届出	遵守
道路交通法	道路における対象工事・作業の許可申請	遵守
道路運送車両法	車両の日常点検、整備記録簿	遵守
道路法	継続して道路を使用する対象物件の許可申請	遵守
労働安全衛生法	安全衛生計画を作成、実施する	遵守
毒物及び劇物取扱法	少量劇物の貯蔵と取扱	遵守
フロン排出抑制法	フロン漏えい点検	遵守

(2)違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

